

平成29年12月18日

鹿沼市議会  
議長 関口 正一 様

新庁舎整備検討特別委員会  
委員長 増 渕 靖 弘

### 新庁舎整備検討特別委員会調査報告書（中間報告）

新庁舎整備事業は平成27年5月に基本計画が決定され、同時に建築工事費の高騰を理由に事業が延期されました。その後、平成28年4月に熊本地震が発生し、現地の市庁舎が大きな被害を受けた事例もあり、防災拠点としての市庁舎の必要性が全国的にも高まり、本市においても防災拠点の必要性を考慮し、建築工事費は高止まりのままだが新庁舎整備事業が再開されました。

議会においては新庁舎整備事業再開後、新庁舎整備検討特別委員会を平成29年6月に設置し議論を重ねてきましたが、各委員の意見は大きく分けて賛成、反対に別れました。

まず、賛成派の意見として、①基本計画は議会も認めて来て、今更疑義を唱えること自体が不合理である。②現在の庁舎の位置は鹿沼市の中心市街地にあり、昔から市民に慣れ親しまれてきた歴史ある場所である。③今までも度重なる住民説明会等により住民の理解も一定程度は得られている。④建築工事費の高騰についても、全体事業費60億円の予算内で、可能な限り木造木質化を進めることが可能である。⑤交通の不便もなく計画された駐車場台数で十分であり、防災拠点としての役割も果たせる等の意見がありました。

次に、反対派の意見として、①建築工事費が高騰化したままでは、建築規模の縮小化等が必要となり、十分な市民サービスを行えない。そこで、現庁舎敷地でなく、もっと広い敷地に低層階の庁舎を建築することで、建築工事費が圧縮され、木のまち鹿沼にふさわしい木造庁舎が建築可能となり、地元経済の活性化にも貢献することが出来る。②現在の計画より多くの駐車場を用意することで、避難してきた住民も十分に駐車可能となり、災害時の緊急車両等の出入りもスムーズに行える。③現在の事業スケジュールはあまりにも拙速で、もっと時間をかけて検討した方が住民により良い庁舎が出来る等の意見がありました。

このように意見の隔たりがあるため、当委員会では各々の委員の意見を以下の通り報告し、執行部に対し、今後新庁舎整備事業を進めるに当たり十分に検討を行うよう求める事を報告します。

① 新庁舎の整備について、現庁舎の位置（今宮町の敷地）で良いか。

	良 い	良くない（ここなら良いと思う場所）
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、市田登、舘野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅（上殿町警察署北側）、佐藤誠（御殿山球場、上殿町）、荒井正行（上殿町等）、鈴木敏雄（上殿町消防署周辺、御殿山公園）、谷中恵子（上殿町消防署周辺、御殿山公園）、津久井健吉（上殿町警察署北側）、関口正一（上殿町警察署北側）、増渕靖弘（上殿町警察署北側）、横尾武男（上殿町警察署北側）、鰐原一男（上殿町警察署北側、御殿山公園）、赤坂日出男（村井町ベイシア跡地）

② 交通アクセスの利便性は十分か。

	十 分	不 十 分
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、舘野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、荒井正行、鈴木敏雄、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

③ 駐車場の計画は十分か。

	十 分	不 十 分
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、舘野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、荒井正行、鈴木敏雄、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

④ 防災拠点としての機能、役割は十分か。

	十 分	不 十 分
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、舘野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、荒井正行、鈴木敏雄、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

⑤ どのような構造が良いか。

	鉄筋コンクリート造及び一部木造木質化	木造木質化
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、舘野裕昭、荒井正行、大貫毅、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

⑥ 建設規模 12,000 m<sup>2</sup>が、総事業費 60 億円で建設可能と思うか。

	可 能	不 可 能
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、市田登、館野裕昭、大貫毅、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、佐藤誠、荒井正行、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増淵靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

⑦自由意見

石川さやか

市議会の三分の二以上の同意が無ければ現地からの移転ができない以上、移転の議論は無意味。コンパクトシティを見据えた上で、鹿沼のシンボルとなるような庁舎建設のための現実的で実のある議論を推し進めるべき。

鈴木毅

これから人口減に向かう日本社会に対し、維持費等がかかる 3 階建以上の建物はランニングコストが上る為、低層が良いと思う。他の市町役場は全て 2 階乃至 4 階建で建設していることは、それを物語っていると思います。

島田一衛

新庁舎整備基本計画に基づく基本設計の予算は議会で議決されています。東京五輪建設資材高騰の為中断中で有りましたが後戻りする事なく防災拠点として早期に市民に愛される新庁舎整備を推進して頂きたいと思います。

阿部秀実

現庁舎の位置での建替えは 5 年前から市と市民と議会の協力により決めてきた。建設計画を進めることで BCP の確立と市民・職員の安全確保を。ただし、敷地内の南側の建設や 60 億円を超える予算では反対をします。

加藤美智子

RC 造とし一部を木質化。木のまち鹿沼を PR できる造とする。今後も鹿沼の中心市街地の顔として存在させ市民の憩いの場を確保する。防災拠点のセンター的機能を担い地区コミセンと深く連動させ、有事の際の司令塔とする。

市田登

市民の声が二分している事を考慮すれば分庁舎方式が良い。分庁舎のメリットとして身近で便利、災害時の活動拠点が分散する事で、より市民サービスが出来る。駐車場の確保がしやすく、地域も活気が出て合理的である。

佐藤誠

手狭な土地に無理に建てるべきではない。大手ゼネコンありきのコンクリートのビルより、地元  
の木材と職人と業者による新庁舎で地元経済を活性化すべき。大胆で公平な発想で鹿沼の百年先の  
発展の可能性を追求すべき。

館野裕昭

中心市街地の活性化を促進させ、伝統と市民に馴染みの持てる庁舎を現庁舎位置で迅速に進めて  
戴きたい。少子高齢化が加速する中、今後の基本設計等で市民に優しい空間を提供出来るようにし  
て行きたいと考えます。

荒井正行

新庁舎整備は、市民の利便性の向上の為には、駐車場の台数や幅など質の改善は必須。事業の延  
期により、スケジュールが当初予定から変更になった為、整備内容や位置変更も含めて再検討すべ  
き。

大貫毅

市民代表による推進会議など多くの市民の声を踏まえ、現庁舎位置で建替える基本計画が策定さ  
れている。この基本計画に基づく基本設計の平成29年度予算を、議会として決定しているのだから、  
後戻りはありえない。

鈴木敏雄

市民サービスの点から考えると、交通アクセスの利便性、駐車場スペース等の点から、現庁舎の  
位置では不十分と考える。執行部にはその点を考えてもらいたい。

谷中恵子

市役所のあるべき姿、市民の利便性を図るため、ワンストップサービスが十分取り入れられる各  
階の床面積を確保すると共に、安心して停められる駐車スペース、駐車場が必須であり、できるだ  
け広い土地への建設を望む。

津久井健吉

もっと、広い場所の消防、警察がある上殿の位置が最適。アクセスの良い、駐車場も多く200  
台～300台は数多く取り、防災に備える。木造木質化、木のまち鹿沼にふさわしい建物を作る。

小島実

候補地の一つ「下水道事務所周辺地域」は黒川上流で大規模水害が発生した場合、さつき大橋に  
流木ガレキが掛り堰止になり、また川の近くは水害時は常に心配だ。那須の水害で復旧工事に従事  
した私は川、橋の近くは反対。

湯沢英之

先人から受け継がれた現庁舎であり、後世にその伝統と文化、誇りを継承する意味と、これから  
も鹿沼市が、持続的に発展する中で伝統を重んじる事を育てる意味を持つよう、現庁舎で建設する  
事です承していきたい。

増渕靖弘

現市庁舎の場所は、防災拠点としては、道路、駐車場共に狭く、これからの 50 年先を考えると、交通アクセスも良く、広い敷地に完全木造木質化の新市庁舎を建設する事が、これからの鹿沼市の中心になると考えます。

横尾武男

今日の車社会の現状では現在の所では狭すぎる。常に駐車場の事で苦慮する。市民の為の庁舎であるべき。防災拠点としては不適である。警察署道路北側付近を買収又は市の所有地が適当。鹿沼材を使用する。十分議論する。

鰐原一男

子孫に誇れる新庁舎整備を目指し、将来を考え発展の可能性のある新たな広い場所に建設すること。市民のゆとりと利便性の向上に応える駐車場が十分確保でき“地材地建”をコンセプトに木造木質の新庁舎建設の実現を。

大島久幸

鹿沼市の街づくり歴史的経緯を考え現地が最適。交通不便無く計画駐車台数で十分。防災拠点機能等は計画立案する中で検討し十分なものとする。RC造で一部木造木質化を行う。60億円でも可能な建物とし多少増額は認める。

赤坂日出男

下水道施設の隣の用地以外の選択を考えて見てはいかがか？総工費 60 億円は、現状で不可能だと思う。万が一予算通りで建設ができない場合は、どうするのか。面積を減らすのか？補正を組むのか？心配で眠れない。

大貫武男

私は、現庁舎位置に建設すべきと思います。歴史的にも、又本市が進めている街づくりにも合致しています。各地区ごとにコミュニティセンターが設置されおり、人口減少している今、60 億円以内での建設にすべきです。

船生哲夫

御殿山公園の一部である「テニスコート」を庁舎の一部として利用する。